

6月8日(日)、「ラブアース・クリーンアップ2014」海岸清掃活動に参加しましたので報告します。

このラブアース・クリーンアップは、1992年に福岡市で開催された「ローマ・クラブ福岡会議」を契機に“地球環境と地域活動”の実践として、市民、企業、行政が協力し、海岸、河川、山なみ、公園等の散乱ごみを回収する地域の環境美化活動で、23年続いています。当時は九州・山口各県で10万人規模の活動でしたが、今では57万人の規模となり、遠くは石川県、北海道、さらには韓国釜山広域市にまで行動の輪が広がっています。

当社は、住友二水会(福岡在住の住友連系51社がメンバー)の社会貢献活動の一環として行事に2004年から参加、環境に対する意識の高さを反映して毎年多数の参加しており、11年目となる今年の参加者は、36社から約640名と過去最大規模になりました。

清掃活動は、一昨年と同じで、博多湾の「金印」出土で知られる志賀島へつながる半島「国立 海の中道海浜公園」の外海側となる玄界灘に面した海岸約1kmの範囲内で行ないました。ファミリーでの参加も多く、子どもと一緒に清掃する姿が海岸のあちこちで見受けられました。

